

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	百貨店（店長）	・前年は新型コロナウイルスの感染拡大により、11月中旬から1月中旬までは来客数が落ち込んだが、今年はその反動で、来客数が大幅に増加すると推察している。
	◎	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・予約は週末に偏っているが、徐々に平日の間合せも来ており、年末年始は最終的に例年並みの来客数に戻るとみている。
	◎	通信会社（営業担当）	・年末のボーナス支給で多少、消費は高まると思うが、それ以外の良くなる要素は、今のところない。
	○	商店街（代表者）	・季節商材を扱う店と日用品を扱う店の売上の高低はあるものの、暖冬予想のため、外出機会が増えて、客の購買意欲が上昇することに期待する。
	○	百貨店（店長）	・今のやや良い傾向が続くと考えている。
	○	スーパー（総務担当）	・物価も安定してきており、政府主導の減税対策等が実施されれば良くなるのではないかと。
	○	コンビニ（店長）	・近隣の地方スーパーが人手不足により営業時間短縮を実施し始めたようである。それにより、当店の客足増加につながるとみている。
	○	コンビニ（店長）	・年末年始にかけては人の流れが多くなるため、今よりは良くなる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・今月から1月までは受注残の車両登録ができるため、登録車両が増えている。
	○	自動車備品販売店（経営者）	・ここ数か月は、特に悪くなる理由はないのに、余り販売等が動いていなかった。やはり、お金を使うことは不安だという購買者の心理が先行している。これが、世の中の景気は良くなり、税金も上がらないというような安心できるムードになると、日本の景気は良くなる。そうなれば当店の客の購買力も高まるのではないかと。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・年明けから、同窓会や歓送迎会等、一般宴会の受注が好評である。各種団体ではなく、一般団体客が動いてきた感じがする。宿泊も団体とビジネス需要がバランスよく受注できており、良い傾向である。レストランは人手不足で、夜の営業をクローズしているため機会損失はあるが、経営上のコスト面では効率よく人をやり繰りできるようになっている。人員確保に努めながら数字には注視していきたい。
	○	旅行代理店（従業員）	・法人や団体旅行では、上限額が設定され始めたが、より良い旅行にしたいという欲求が勝ると期待している。
	○	設計事務所（所長）	・年が明け、新年から次の動きが始まるとみている。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・例年、当地方では11月末は紅葉も終盤になり、目に見えて客足が鈍るが、今年は暖冬の影響もあって紅葉が月末まで見頃で、客足の鈍化も12月以降にずれ込む様相である。久しぶりに旅行に出たという方や、外国人旅行客も相変わらず多い。例年、冬場は国内観光客が少なくなり、外国人観光客が目立つようになるが、来年の年初は外国人観光客に支えられて、景気もこのまま良い状況で推移するのではないかと。前月に引き続き、海外情勢が不安定な点と受入れ側の人手不足が懸案事項である。
	□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・飲食店関係の活気がまだ戻らないので、変わらない。
□	百貨店（営業担当）	・年末年始商戦が始まるが、物価高などに伴う生活防衛意識は依然として高止まりが予測される。今後数か月で、消費マインドの改善には至らないとみている。	
□	百貨店（営業担当）	・販売や客単価は上がってきているが、相変わらず不透明な世界情勢や物価高、資源価格の高騰が続くことが予想され、先を見通せない状況である。	
□	コンビニ（経営者）	・当店付近の道路工事は店の100メートル手前から始まり、その後、500メートル手前まで続くとのことで、しばらく交通量の減少は避けられない。また、店舗から1キロメートル先では陸橋工事が続いており、こちらもしばらく掛かるため、今のところ、売上の増加は見込めない。	

□	衣料品専門店（統括）	・当店の取扱商材は、祭り用品が大部分を占めている。特に、夏から秋までが祭りの時期なので売れるが、これから寒くなると、ほとんど動きが途切れてしまう。特に、みこしに関しては、春から夏にかけてが主なので、売上につながっていくのは、祭りの時期が始まってからになる。それまでは変わらない。
□	家電量販店（店員）	・耐久消費財の柱になる映像関連、白物家電、季節商材が伸びないと厳しい。
□	乗用車販売店（経営者）	・国内の自動車メーカーは、輸出も含めてかなりの収益をあげている一方で、国内販売の場合、最近是我々のような中小零細の小売店に対し卸価格の締め付けなどがあり、見通しが立たない状況である。
□	乗用車販売店（経営者）	・現状景気は良くないと感じるが、2～3か月後に良くなる材料も知らないため、更に悪くなるか変わらない。
□	住関連専門店（店長）	・値上げの傾向はいまだ続いており、価格の安い物しか買わない様子がうかがえる。
□	住関連専門店（仕入担当）	・これから年末に向けて、人流はより活発になると思うが、その恩恵を受ける業種は限定的である。コロナ禍でプラスに働いた業種の反動減は当分続く。
□	一般レストラン（経営者）	・ここ半年は横ばいのため、しばらくはこの状態が続くのではないか。
□	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・新規案件はあるものの、人材確保の見通しがなければ、受託に動けない状況となっている。労働集約型の産業で、機械化や省人化がすぐには難しく、当面は人材確保が業績改善に向けて1番の重しになると懸念される。
□	都市型ホテル（経営者）	・インバウンドが好調な他の観光地等の波が、当ホテルのエリアには来ていない。
□	都市型ホテル（支配人）	・宴会部門は新型コロナウイルス感染症発生前の8割くらいまで予約件数が戻ってきているが、残り2割の戻りが遅いと感じている。
□	旅行代理店（所長）	・オフシーズンに入るので、宿泊者、来訪者数は減少すると思われるが、暖冬予報もあり、それなりに観光客は来るのではないかと。ただし、降雪量が余りに少ないと、スキー客や雪を使った冬の誘客イベントに影響が出る懸念がある。
□	旅行代理店（営業担当）	・シーズンの波動の動きが変わったのか、客の行動パターンが変化したのかははっきりしないが、変わらない。
□	タクシー（経営者）	・全体的に動きが良くないので、この先も変わらない。
□	通信会社（総務担当）	・2～3か月先に仕入価格が下がる見込みは全くない。
□	テーマパーク（職員）	・前年並みで推移しており、この先、全国旅行支援等の大きく増加する要因もないことから、横ばいで推移するとみられる。
□	ゴルフ場（従業員）	・来場者の動きから、変わらないかやや悪くなる傾向とみている。
□	競輪場（職員）	・現在より良くなる材料に乏しく、この先の社会情勢に変化が見受けられない。
□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・周囲の状況から鑑みて、現在の傾向がまだ続く。年末の売り込みも期待できない。小売業の顧客が6店、年内で閉店予定で、下請工場も2店閉鎖と不景気が忍び寄る状況である。
□	住宅販売会社（経営者）	・最近、不動産や貸店舗、貸事務所等の引き合いが非常に少なくなっており、逆に撤収の話ばかりが増えてきたような感じがする。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・リフォームに関しては、補助金の関係で見送るケースが増え、年度明けからの商機となるのではないかと。
▲	スーパー（商品部担当）	・商圏内の新店オープンの影響は続き、物価上昇の影響もしばらくはあるとみている。特に、年末年始の買上点数や客単価に大きく影響するのではないかと。
▲	家電量販店（店長）	・販売業ではいろいろな施策を行い売上の増加に臨んでいるが、増加につながられていない。年明け以降も改善の見込みはない。
▲	一般レストラン（経営者）	・年末年始でお金を使い、出費を控える時期になる。物価高などの影響がじわじわきているため、先行きの見通しは悪い。

	▲	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・例年、1～2月は当店の最繁忙期になるが、仕入価格が高止まりしている上に、ここに来て、鳥インフルエンザ等で、再び卵等の価格が高騰している。人手不足もいまだに解消できておらず、例年よりも定休日を増やすなどに対応しているために、全体の売上は下がっているため、やや悪くなる。
	▲	旅行代理店（経営者）	・最繁忙期が終わり閑散期に向かうためである。
	▲	タクシー運転手	・運賃の値上げで利用客がいなくなってしまった状況は、しばらく続きそうである。
	▲	通信会社（社員）	・成長企業と衰退する企業の2極化が顕著になっている。客を増やしてもそれ以上の解約があるため、新規客を増やさず、既存客を守る営業にシフトする企業も増えている。
	▲	通信会社（局長）	・現状では、物価高、円安が収まる傾向や気配がみえない。このままでは、間違いなく買い控え等の影響が出る。
	▲	美容室（経営者）	・歳末商戦の時期だが、温暖化の影響で季節商材の売上の伸びが鈍い。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・中国の不動産バブルの状態が悪化するなか、日本にも少なからず影響が出てくる可能性がある。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・本当にお金のない家庭が結構増えてきているようで、この景気の悪さに、子育て世代等は完全に圧迫されており、必要な物以外は買わなくなっている。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・今月は年金給付月ではないこともあるかもしれないが、本当に人出が悪い。年末年始に絡んで、若干の人出が期待できればよいが、今後もこの状況が続いたら、それこそ店を閉めるような状況になる。
	×	乗用車販売店（経営者）	・出費の増える年末年始を迎えるため、悪くなる。
	×	通信会社（経営者）	・内閣支持率からも、日本がどこに向かっているのか分からないという不安が拭えない。もう、インバウンドも十分ではないか。その分、大半の国民は苦しんでいる。円安の恩恵を受けている企業は人件費も上げられるだろうが、多くの中小企業は、度を越した円安でむしろ苦しんでいる。若者や年金受給世代もここまで物価高騰が切実になると、政府の政策に不安を覚えざるを得ない。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	金属製品製造業（経営者）	・大阪・関西万博の影響により、良くなる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・2部署ほどで、やや増産傾向にある。
	○	金融業（営業担当）	・全体的に賃金の上昇等が確認でき、今後においては消費の増加が見込まれ、景気の上振れが予想される。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・業績を上げ、良い正月を迎えられればよいと願っている。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車業界向けの仕事に関しては、自動車の受注残も多く抱えていることから、堅調に推移すると見込んでいる。その他の業界の仕事も現状から大きく変化するとの情報は、今のところない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・今後への期待や前向きな気持ちにもなれない状況下である。景気は悪いまましばらく変わらない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・恐らく、受注は来年3月までは横ばいで、安定して上振れしているのではないかと。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・現状の2～3か月はまずまず良くなっていると思うが、2～3か月先は、再び落ちるのか、上がるか微妙なところで、全く分からない。
	□	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・受注は安定してきたが、取引先からは輸出面での不安があるために来月は減産になるかもしれないという情報がある。どうなるかはまだ分からないが、いまだに先の見えない不安がある。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・物価高の状況等は、いまだに続いている。
	□	輸送業（営業担当）	・年末年始に向かい、暖房家電、エアコン、こたつ、電気カーペットや冬物寝具、毛布や初売り商材等の輸送量は前年並みを確保できそうである。しかし、ドライバー不足や燃料価格の高騰による車両不足が発生し、コスト的には厳しくなりそうである。
	□	経営コンサルタント	・一定の賃上げと年末のボーナス支給等による増収効果がいつまで続くかという問題はあつたものの、インフレの動きが落ち着けば個人消費は堅調に推移する。また、一部の中小企業の業績が順調なままであれば、経済状況は普通といえる。

	□	司法書士	・少しずつは良くなると思うが、回答の評価が変わるほどまではいかないのではないか。
	□	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・商談、受注の件数が増加傾向にある。ただし、仕入コスト、経費等も増加しているため、収益は圧迫されるとみている。
	▲	窯業・土石製品製造業（経営者）	・様子見がもう少し続く気がする。なかなか商材が出ない感じがしているため、今後も良くはならない。
	▲	不動産業（管理担当）	・テナントの入居数や賃料面では横ばいが続きそうであるが、資材価格の値上げで、維持メンテナンス部門の利益が、じりじり減少しており、なかなか回復の兆しがみえてこない。
	▲	社会保険労務士	・政府の物価高対策も大したことはなく、春の賃上げで家計負担感が減らない限り、改善は見込めない。
	×	建設業（開発担当）	・11月末で今年度は8か月が経過し、残り4か月である。当社は現在売上が前年比10%減少と厳しく、今後に期待したい。
	×	建設業（総務担当）	・特に、公共工事の量が少な過ぎるし発注予定もなく、不安しかない。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	・年末に向けてのイベントとしては、クリスマス関係で、子供の期待にこたえたいという親の姿が出てくると思う。動きが多くみられるとすれば、そういった子供向けや家電関係で、良い方向へ向かうと期待している。住宅関連は年末年始の休みに向けて、ピッチを上げた工事が多い。製造業の生産や自動車関連の販売も、年末ぎりぎりまで、若干ではあるが期待は持てる。
	○	人材派遣会社（管理担当）	・サービス業への派遣依頼が多数あるため、やや良くなる。
	□	人材派遣会社（社員）	・これまでなら、人手不足時には速やかに派遣を利用していただいていた企業でも、来春に新入社員が入社するまでは在籍社員で対応するという取引先が増えた印象を受けている。
	□	職業安定所（職員）	・求人数が多い建設業、製造業、医療、福祉等の主要産業について、新規求人数が前年同月比で増加と減少を繰り返している。
	□	学校〔専門学校〕（副校長）	・政府の景気対策が不透明であり、景気の底上げができるかは疑問が残る。
	▲	人材派遣会社（従業員）	・派遣取引先の会社が、この先は暇になるとのことで、やや悪くなる。
	×	—	—